

静岡県共同利用電子入札システム
(工事・委託)
次期ブラウザ対応

受注者様向け設定手順書

第 3.0 版

2025 年 10 月 1 日

富士通 Japan 株式会社

改版履歴

版数	作成日／変更日	改版内容
第 1.0 版	2021 年 12 月 15 日	初版作成
第 1.1 版	2022 年 1 月 7 日	全体: 検証サイトのプロトコルを『https』に変更 8. 接続テスト: 証明書エラーが表示された際の操作を追記
第 1.2 版	2022 年 2 月 7 日	3.3. 事前検証ツール実行結果の確認: OS に Windows11 を追加
第 1.3 版	2022 年 2 月 8 日	7. 電子入札補助アプリの設定: 入札情報システム URL を追加
第 1.4 版	2022 年 9 月 1 日	事前検証サイトを削除
第 1.5 版	2023 年 1 月 16 日	Windows8.1 を削除 補助アプリ V1.2.0 に対応
第 1.6 版	2023 年 2 月 23 日	補助アプリ V1.3.0 に対応
第 1.7 版	2023 年 12 月 1 日	補助アプリ V1.4.0 に対応
第 3.0 版	2025 年 10 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・Windows10 をサポート対象外判定とする ・5.1 Microsoft Edge の設定(1)(2)の修正 ・5.2 Google Chrome の設定(1)の修正 ※手順書版数と事前検証ツール Ver を一致させるため 3 版とした

目次

1. はじめに	3
2. 設定の順序.....	4
3. 事前検証ツールの実行	5
3.1. 事前検証ツールの入手.....	5
3.2. 事前検証ツールの実行.....	5
3.3. 事前検証ツール実行結果の確認	7
3.4. 事前検証ツール実行の再実行.....	10
4. ブラウザのインストール.....	11
4.1. Microsoft Edge のインストール	11
5. ブラウザの設定	12
5.1. Microsoft Edge の設定.....	12
6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ	20
7. 電子入札補助アプリの設定	21

1. はじめに

本書は、静岡県共同利用電子入札システム（工事・委託）次期ブラウザ対応に向けた準備・設定を行うマニュアルです。

一般的な機能や操作手順については製品マニュアルを参照ください。

各画面イメージは、実際に表示される画面内容と異なる場合がございますので、ご了承ください。

略称について

- IE : Internet Explorer の略です。
- Edge : Microsoft Edge の略です。

登録商標について

- SuperCALS は、富士通 Japan 株式会社の登録商標です。
- Windows、Internet Explorer および Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

2. 設定の順序

電子入札システムを利用する際は、**Microsoft Edge** を利用ください。

以下の順序で各種設定を行います。

No.	設定内容	説明
1	事前検証ツールの実行	事前検証ツールを実行し、設定が必要な項目を確認します。
2	ブラウザのインストール	事前検証ツールにて、ブラウザのインストールが必要となった場合に実施します。
3	ブラウザの設定	事前検証ツールにて、ブラウザの設定が NG だった場合に実施します。 設定項目は以下になります。 ・キャッシュクリア ・ポップアップ許可
4	電子入札補助アプリのバージョンアップ	事前検証ツールにて、電子入札補助アプリのバージョンアップが必要となった場合に実施します。
5	電子入札補助アプリの設定	事前検証ツールにて、補助アプリのインストールまたはアップデートが必要となった場合に実施します。

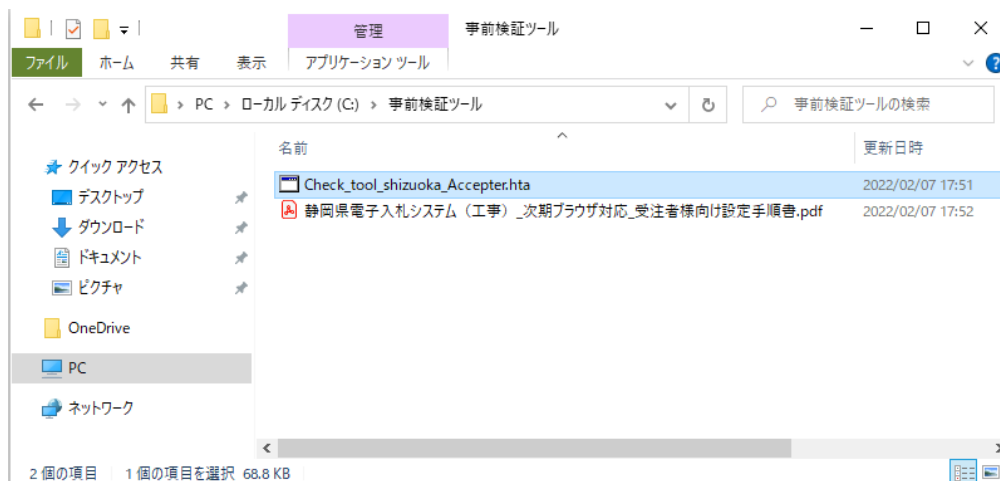
3. 事前検証ツールの実行

3.1. 事前検証ツールの入手

事前検証ツールは静岡県共同利用電子入札(工事・委託) ホームページの左メニューにある『次期ブラウザ対応移行支援コンテンツ』より取得ください。

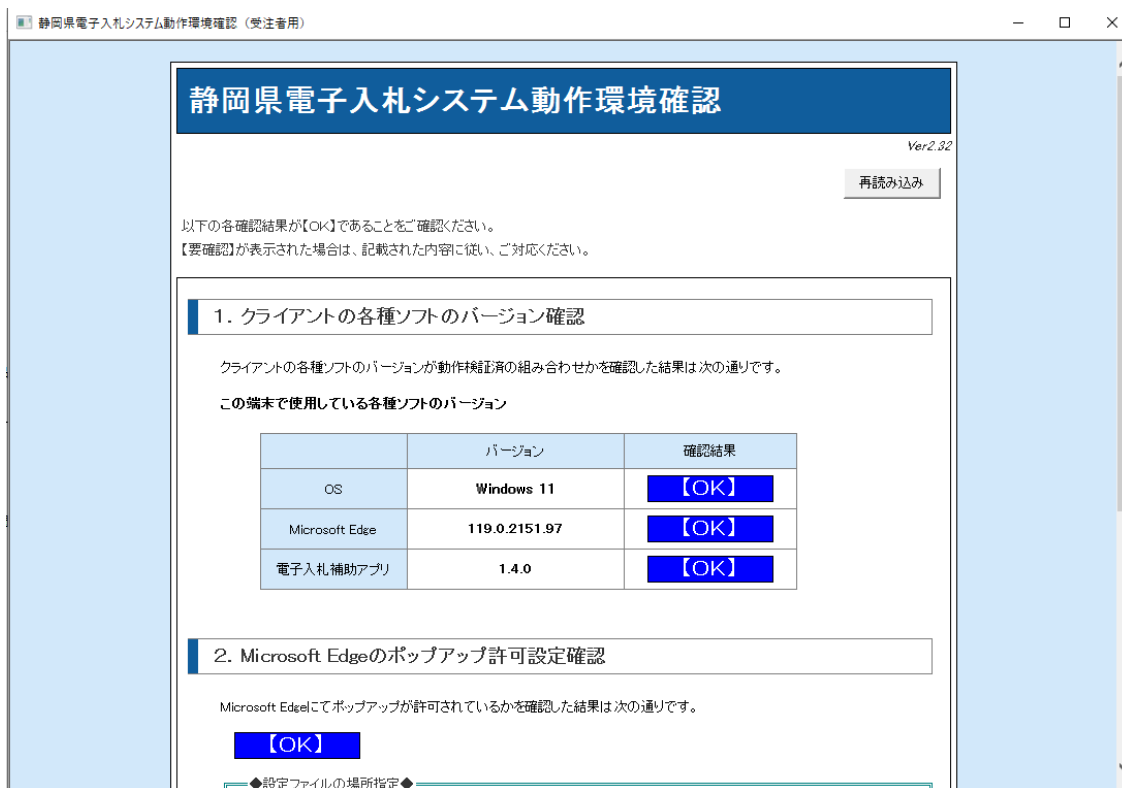
3.2. 事前検証ツールの実行

- ① 『3.1. 事前検証ツールの入手』でダウンロードした ZIP ファイルを解凍します。



- ② 解凍されたフォルダを開き、事前検証ツール『Check_tool_shizuoka_Acceptor.hta』をダブルクリックし、実行します。

- ③ ツールが実行されると、以下のような画面が表示されます。
- 結果の見方は次項にて解説します。



3.3. 事前検証ツール実行結果の確認

① クライアントの各種ソフトのバージョン確認

お使いのパソコン環境の情報が表示されます。以下、表示例です。

1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認

クライアントの各種ソフトのバージョンが動作検証済の組み合わせかを確認した結果は次の通りです。

この端末で使用している各種ソフトのバージョン

	バージョン	確認結果
OS	Windows 11	【OK】
Microsoft Edge	119.0.2151.97	【OK】
電子入札補助アプリ	1.4.0	【OK】

項目	内容
OS	パソコンの OS バージョンが表示されます。 Windows 11 をご利用ください。 ※Windows 10 のマイクロソフト社サポート期限が 2025 年 10 月 13 日 (月)までのため。
Microsoft Edge	Edge がインストールされている場合、バージョンが表示されます。 89 以降のバージョンにてご利用ください。
電子入札補助アプリ	電子入札補助アプリのバージョンが表示されます。 V1.3.0 以下の場合、V1.4.0 以降にバージョンアップが必要です。

② Microsoft Edge のポップアップ許可設定確認

Microsoft Edge をご利用する場合に設定が必要です。

『要確認』の場合、『5.1. Microsoft Edge の設定』に従って設定をしてください。

【要確認】

https://www.ebid.cals-shiz.jp (電子入札システムURL)がポップアップ許可されていない可能性があります。
https://www.ppi.cals-shiz.jp (入札情報システムURL)がポップアップ許可されていない可能性があります。

◆設定ファイルの場所指定◆

Microsoft Edgeの設定ファイルの場所は自動で判断しています。

設定ファイルの場所を読み込めていない(デフォルトから変更した)場合は設定ファイルの場所を指定してください。

① Microsoft Edgeで「edge://version/」にアクセスします。

② 表示された「プロファイルパス」の内容を以下に入力して「check」ボタンをクリックします。

プロファイルパス:

※「設定情報が読み込めませんでした。」と表示された場合は、画面上の手順に沿って設定ファイルを指定いただき「check」ボタンをクリックしてください。

【要確認】

設定情報が読み込めませんでした。

The screenshot shows the Microsoft Edge 'edge://version' page. It lists system information like Windows 10 Version 20H2, JavaScript V8 9.8.1108.4, and various user agents. Under '実行可能ファイルのパス' (Executable file path), it shows the path to the Edge application. Below that, under 'プロファイルパス' (Profile path), it shows the path to the user's profile. A red dashed box highlights the 'プロファイルパス' section. A blue arrow points from this section to a 'check' button in a separate box at the bottom. The 'check' button is next to a text field containing the profile path: 'C:\Users*****\AppData\Local\Microsoft\Edge\User Data\Default'.

③ 電子入札補助アプリ 許可 URL 設定確認

電子入札補助アプリのバージョンが V1.3.0 以下の場合、『対象外』となります。

『6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ』に従ってバージョンアップをしてください。

3. 電子入札補助アプリ 許可URL設定確認

電子入札補助アプリの許可URLが登録されているかを確認した結果は次の通りです。

【対象外】

電子入札補助アプリがインストールされていないか旧バージョンのため、判定できません。

電子入札補助アプリのバージョンが V1.4.0 で 許可 URL 設定がされていない場合、『要確認』となります。

3. 電子入札補助アプリ 許可URL設定確認

電子入札補助アプリの許可URLが登録されているかを確認した結果は次の通りです。

【要確認】

<https://www.ebid.cals-shiz.jp> (電子入札システムURL)が許可URLリストに正しく設定されていない可能性があります。
<https://www.ebid.cals-shiz.jp> を電子入札補助アプリの許可URLに設定してください。
<https://www.ppi.cals-shiz.jp> (入札情報システムURL)が許可URLリストに正しく設定されていない可能性があります。
<https://www.ppi.cals-shiz.jp> を電子入札補助アプリの許可URLに設定してください。

『7. 電子入札補助アプリの設定』に従って許可 URL の設定をしてください。

3.4. 事前検証ツール実行の再実行

ソフトウェアのインストールや設定を実施した後に、事前検証ツールを再実行し『OK』となる事を確認します。

事前検証ツールを再実行する場合、再度『3.2. 事前検証ツールの実行』を行うか、事前検証ツール右上の『再読み込み』ボタンをクリックします。

4. ブラウザのインストール

静岡県共同利用電子入札システム(工事・委託)で利用するブラウザをインストールします。

既に Microsoft Edge がインストールされている(『OK』と表示された)場合、本章はスキップしてください。

4.1. Microsoft Edge のインストール

以下のサイトより Microsoft Edge のインストーラーをダウンロードし、実行してください。

<https://www.microsoft.com/ja-jp/edge>

インストール完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『Microsoft Edge』の確認結果が『OK』となっていることを確認してください。

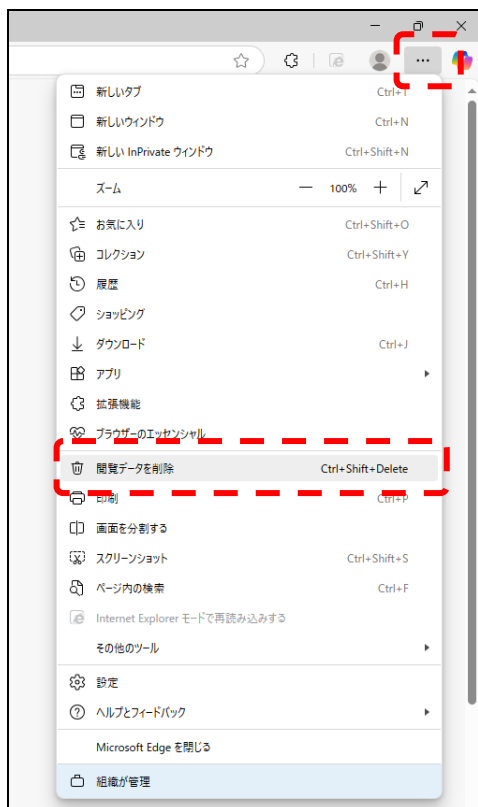
5. ブラウザの設定

静岡県共同利用電子入札システム(工事・委託)で利用するブラウザの設定を行います。
利用するブラウザ(Edge)に対して実施ください。

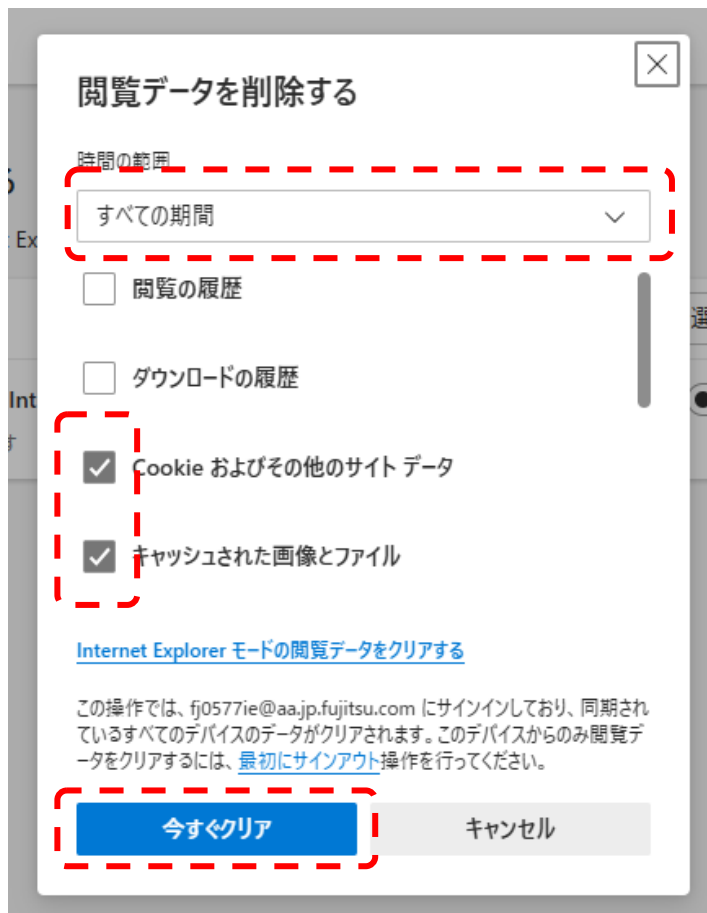
5.1. Microsoft Edge の設定

(1) キャッシュクリア

- ① Microsoft Edge のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。



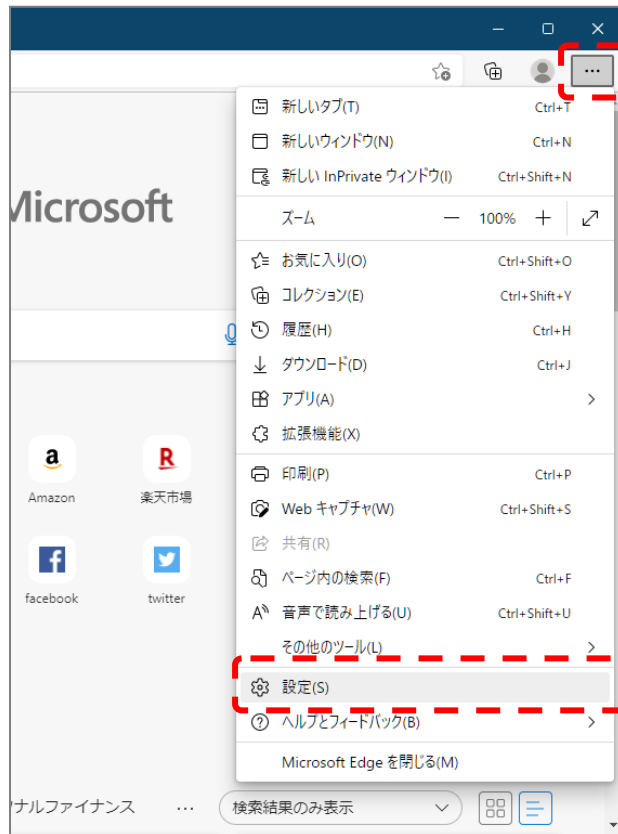
- ② 時間の範囲は『すべての期間』を選択し、『Cookie およびその他のサイトデータ』と『キャッシュされた画像とファイル』のチェックボックスにチェック☑をし、『今すぐクリア』ボタンをクリックします。



以上でキャッシュクリアは完了です。続けて、ポップアップ許可登録を実施ください。

(2) ポップアップ許可登録

- ① Microsoft Edge のウインドウ右上の『×』ボタンのすぐ下にある『…』をクリックし、表示されたメニューの『設定』をクリックします。



- ② 画面左側のメニューにある『Cookie とサイトのアクセス許可』をクリックし、表示された画面の『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。

※『Cookie とサイトのアクセス許可』が表示されない場合、手順⑤に進んでください。



- ③ 表示された画面の『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。



- ④ 『許可』の右にある『追加』をクリックします。

※『追加』クリック後は手順⑨に進んでください。



- ⑤ 画面左側のメニューにある『プライバシー、検索、サービス』をクリックし、表示された画面の『サイトのアクセス許可』をクリックします。



⑥ 『すべてのアクセス許可』をクリックします。



⑦ 『ポップアップとリダイレクト』をクリックします。



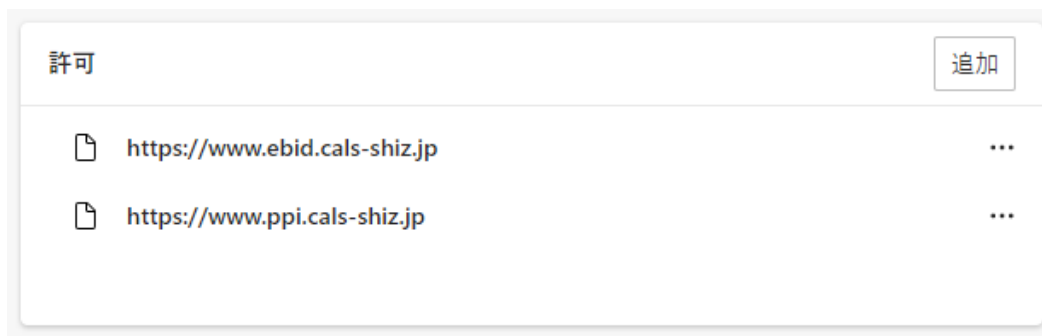
- ⑧ 『サイトの追加』をクリックします。



- ⑨ 画面の『サイト』に以下の表の URL を入力します。入力は1URL ずつ行い、入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。2URL の登録が必要なため、計 2 回実施してください。

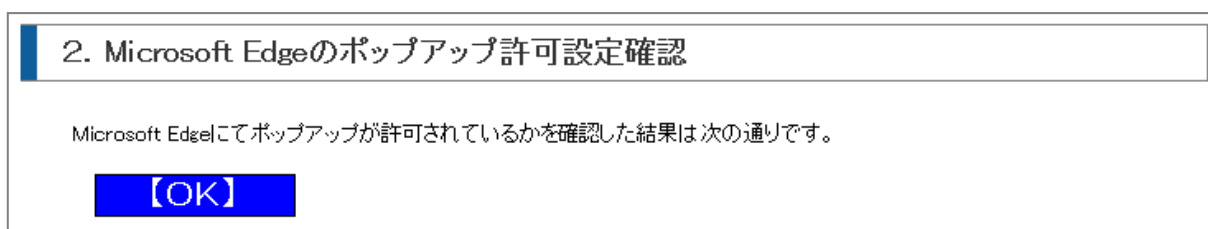
No	URL	説明
1	https://www.ebid.cals-shiz.jp	電子入札システム
2	https://www.ppi.cals-shiz.jp	入札情報システム

⑩ 入力した2つの URL が許可一覧に追加されていることを確認します。



以上でポップアップ許可登録は完了です。

最後に、事前検証ツールを再実行し、『2. Microsoft Edge のポップアップ許可設定確認』が『OK』となったことを確認してください。



以上で Microsoft Edge の設定は完了です。

6. 電子入札補助アプリのバージョンアップ

電子入札補助アプリのバージョンアップを行います。

既に V1.4.0 がインストールされている場合、本章はスキップしてください。

電子入札補助アプリ V1.4.0 は、ご利用されている民間認証局より入手してください。

連絡先等は以下の「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」をご確認ください。

- ・一般財団法人日本建設情報総合センター「コアシステム対応認証局お問い合わせ先一覧」

- ・<https://www.cals.jacic.or.jp/coreconso/inadvance/agencylist.html>

入手後は、アプリ付属の手順書に沿ってバージョンアップ作業を実施ください。

バージョンアップ完了後に、事前検証ツールを再実行し、『1. クライアントの各種ソフトのバージョン確認』の『電子入札補助アプリ』のバージョンが V1.4.0 となっていることを確認してください。

7. 電子入札補助アプリの設定

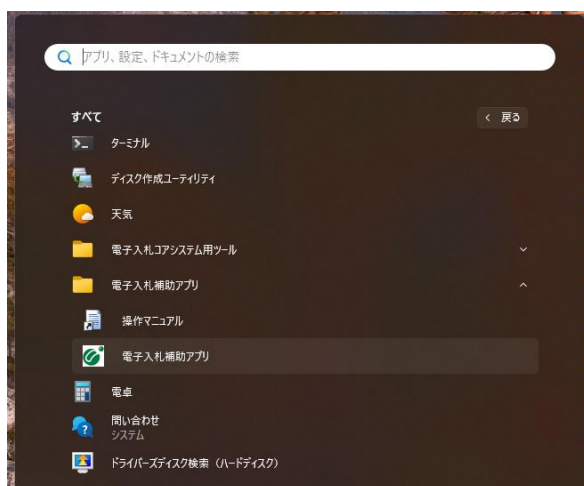
電子入札補助アプリの許可 URL リストの設定を行います。

許可 URL は事前チェックツールで『要確認』となった URL を追加登録します。

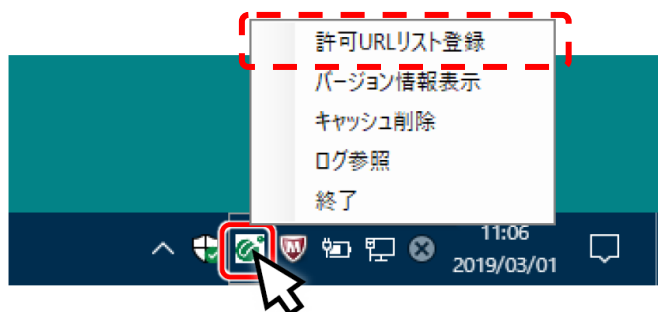
- ① 電子入札補助アプリを起動します。以下操作は起動方法の一例です。

例) Windows マークをクリックし、『すべて』をクリックします。

表示されたアプリケーション一覧から『電子入札補助アプリ』をクリックします。



- ② 右下のタスクトレイの電子入札補助アプリアイコンを右クリックし、電子入札補助アプリのメニューを表示させ、『許可 URL リスト登録』をクリックします。



- ③ 『許可 URL リスト登録』画面の中央にあるテキスト入力エリアに URL を入力します。
 入力は 1URL ずつ行い、入力が完了したら『追加』ボタンをクリックします。

以下、表の2つの URL 追加が必要です。

事前検証ツールで『要確認』と表示された URL を追加してください。

No	URL	説明
1	https://www.ebid.cals-shiz.jp	電子入札システム
2	https://www.ppi.cals-shiz.jp	入札情報システム

【要確認】

https://www.ebid.cals-shiz.jp (電子入札システム URL) が許可 URL リストに正しく設定されていない可能性があります。
 https://www.ebid.cals-shiz.jp を電子入札補助アプリの許可 URL に設定してください。
 https://www.ppi.cals-shiz.jp (入札情報システム URL) が許可 URL リストに正しく設定されていない可能性があります。
 https://www.ppi.cals-shiz.jp を電子入札補助アプリの許可 URL に設定してください。

例) 上 2 つの URL が許可 URL に登録されていない場合の事前検証ツールの表示

- ④ 計 2 つの URL が一覧に表示されていることを確認します。

問題なければ設定の保存のために、右上の『×』ボタンをクリックします。

許可されたサイトのURL
https://www.ebid.cals-shiz.jp
https://www.ppicalcals-shiz.jp

追加

削除

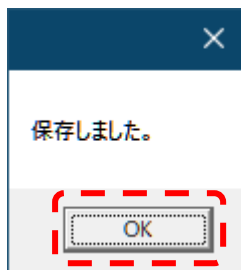
- ⑤ 『はい(Y)』をクリックし、設定を保存します。

許可URLリスト登録 ×

変更した情報の保存を行いますか？

はい(Y) いいえ(N)

⑥ 『OK』をクリックし、設定を完了します。



最後に、事前検証ツールを再実行し、『3. 電子入札補助アプリ 許可 URL 設定確認』が『OK』となったことを確認してください。

3. 電子入札補助アプリ 許可URL設定確認

電子入札補助アプリの許可URLが登録されているかを確認した結果は次の通りです。



以上で電子入札補助アプリの設定は完了です。

以上